



たきばな

一般社団法人
日本ボーイスカウト
静岡県連盟

〒420-0068
静岡市葵区田町1丁目170-1
(静岡県青少年会館内)



令和元年度 静岡県連盟定時総会・表彰式開催

CONTENTS

令和元年度 静岡県連盟定時総会・表彰式開催…………… 2	カブつうしん…………… 10
記念講演「中途退団抑止について」…………… 4 日本連盟 常務理事 膳師 功氏	ボーイ通信…………… 11
平成30年度 組拡広報委員会事業 活動写真コンテスト2018…………… 5	指導者だより…………… 12
赤沢山道場記念碑設立を終えて…………… 6	浜松地区「イオン幸せの黄色いレシート」キャンペーン 友情章 おめでとう38名の仲間…………… 14
第24回「世界スカウトジャンボリーに向けて」…………… 7	マスクミコーナー…………… 15
平成30年度 宗教章(佛教章)取得研修会…………… 8	お知らせコーナー…………… 16 各研修のご案内・東海4県連盟合同野営大会
第2回 若き指導者…………… 9	
いつも元気だっ!ビーバーだより…………… 10	

令和元年7月
第156号

令和元年度 静岡県連定時総会・表彰式

日付:5月18日(土) 会場:静岡市東部勤労福祉センター(清水テルサ)

5月18日(土)、清水テルサにて日本ボーイスカウト静岡県連盟「令和元年度定時総会・表彰式」が開催されました。表彰式では富士章スカウト顕彰、日本連盟の功労章受章者の紹介、県連盟褒章・感謝状・有功章の授与、組織拡充顕彰、地区一番団の表彰。続いて静岡スカウト運動100周年記念事業キックオフ

式、PR動画の後実行委員会村松理事長より概要が説明されました。定時総会では第1号議案「平成30年度事業報告に関する件」、第2号議案「平成30年度収支決算報告に関する件」、第3号議案「2019年度理事及び監事の選任に関する件」、等についての審議が行われ、承認されました。

《表彰式》



名誉会議議長 挨拶



地区一番団
表彰



富士章受賞スカウトの顕彰



日本連盟功労章かつこう章、たか章の紹介



感謝状の贈呈



スカウティング褒章の授与



有功章の授与



静岡スカウト運動100周年記念事業キックオフ式

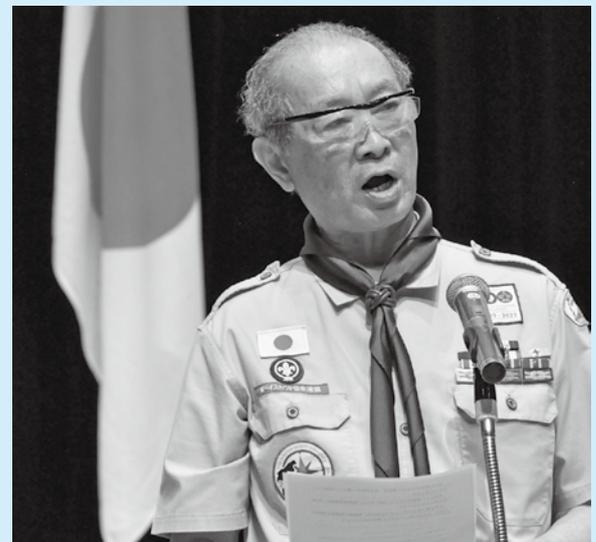


有功章の授与

《定時総会》



「おきて」の唱和



村松理事長 挨拶



事業報告



弥栄

記念講演:

「中途退団抑止について」



ボーイスカウト日本連盟 常務理事

中途退団抑止特別委員会委員長 膳師 功

将来の日本を引っ張っていくスカウトを育てるため、「居続けたい団」を目指す。日本連盟の事業計画として、①安定した組織:新規加盟スカウトの増加促進、②中途退団抑止:実態調査、③担い手の育成基礎作り:ローバースカウトの支援が課題。

改めて「居続けたい団」とはスカウトから見てどんな団か? a集会が楽しい、プログラムがわくわくして魅力的、隊長やリーダーがおもしろくて好き、b仲間にあうのが楽しみ、c部活が忙しくても集会

に行きたい、更にdお金が足りない同様に保護者から見ると、a会費が足りない、b親が団の奉仕をしなくとも良い、c子供が喜んでいる、e成長している実感がある。元気でたくましくなった、家で手伝いをしてくれる等々。逆に中途退団の理由は、aプログラムが面白くない、b隊長が嫌い、c部活が忙しい、d塾で勉強がしたい、e経済状況が許さない等々。現実組織拡充に繋がらない最大の原因は(県コミアンケートによると)

【指導者関連】①指導者の高齢化②指導者の力量不足③コミッショナーのレベル低下、**【隊運営関係】**①正しいスカウト教育が行われていない②プログラムのマンネリ化③基本原則が守られていない、**【団運営関係】**①認知度不足②コミュニケーション不足、保護者の活用がない、成果が

見えない③中途退団の増加。分析するとスカウト減少の原因は「少子化」だけではない。大きなターニングポイントの2000年前後に何があったのか?まさに家族の形の変化に合わせた活動の変化が必要だった。

今後抑止対策7つの鍵①中途退団をなくすため、保護者を抱えこめ!お母さん目線を作る、SNSほか身近なものに着目する、②地域の有力者や大人の理解者、仲間を増やせ、③あるべき姿をイメージせよ、④団経営は実行力、そのためにも原資を稼ぐ努力が必要、⑤悪い状況からの脱皮。マンネリなど向上心の欠如、危機感の欠如など、⑥腹をくくる。自分から熱を発することが大切、⑦大義を持つことが必要、「錦の御旗」があれば人も社会も応援してくれる!



計画策

- ・ビジョン、目標をイメージ
- ・得意分野の方針で
- ・全員の意思統一が
- ・計画も人も完璧はな
- ・弱いところを研究し、
- ・苦境時にMAXの力を
- ・自分に妥協は許さな
- ・他のまねは、全て良
- ・定石を破壊して、新



最優秀賞：静岡地区静岡第22団「スカウトのわ〜っ」

平成30年度組拡広報委員会事業 活動写真コンテスト2018

組織拡充広報委員長 **川島 一朗**

平成30年度も11地区から59作品と数多くの作品の応募がありました。

その中から、5月18日(土)清水テルサ(静岡市清水区)で行われました県連盟総会会場にて、投票により以下の通り優秀作品を決定しました。

入賞した作品はもとより、入賞できなかった作品も甲乙付け難く、躍動感溢れるものが数多く応募されました。年々レベルが上がっているように思います。

秋になりましたらまた写真の募集を行う予定です。本年度もよりレベルアップした魅力溢れる作品を期待したいと思います。



- ④ **佳作**：志太地区 藤枝 第7団「沢のぼり」
- ⑤ **優秀賞**：御殿場・小山地区御殿場 第6団「パレード」

投票風景と表彰式



審査会場受付で配布したシールで投票して頂きました。



懇親会にて優秀作品の表彰を行いました。

赤沢山道場記念碑設立を終えて

日 付：4 月 28 日(日) 赤沢クラブ事務局 海野 登光



平成最後の日曜日4月28日、会場は未舗装の急坂なのでお天気を心配しておりましたが願ってもない好天で予定どおり実施できました。主催者の赤沢クラブのメンバーを喜ばしてくれたのは、想像以上に仲間が集まって頂いたことです。静岡地区のスカウト、地区の役員、県連の役員、長青会の皆さん、そして神奈川から矢島巖氏(神奈川県連参与)、愛知県から石原透(日連スカウトソング特別委員長)などです。それも今回の赤沢山道場が担ってきた、歴史の重さなどと思います。そもそも私たちが赤沢クラブ発足当初に出会った尾崎忠次先達の膨大な資料を整理してゆくうちに、静岡に全国に先駆けて『ボーイスカウト』を設立した大先輩の『熱き情熱』に圧倒されました。スカウティング・フォア・ボーイズを翻訳し、少年団を結成するところから始めたスカウト運動は当時さまざまな苦勞を伴って日本のボーイスカウト発祥の地となったのです。その礎となったのが、大正時代から始めた赤沢山道場での主に指導者研修所です。



今回、村松武博県連盟長より「赤沢クラブの皆さんの素晴らしい情熱」とメッセージを頂きましたが、今回赤沢山道場に碑を建てさせたのは、その『熱き思いの大先輩の皆さん』だと思います。かつて『ボーイスカウトの設立』に情熱を燃やした地で、令和の時代のスカウト・指導者が尾崎忠次先達の作詞した歌を歌い、またぶらぶら沢でぶらぶら沢の歌を合唱し、素適な笑顔と歌声が赤沢山にこだました素晴らしい時間が流れました。皆さん、本当にありがとうございました。



第24回「世界スカウトジャンボリーに向けて」

静岡県連盟壮行会 日付:6月23日



B分団第16隊 隊長 上條 猛(三島第5団)

第24回世界スカウトジャンボリーは、7月22日から8月2日まで、米国ウエスト・バージニア州サミットベクレル保護区に世界169ヶ国から35,000人が集まり開催されます。日本からは1,200人、静岡県からはスカウト39名(14隊3名、16隊36名)、IST1名、指導者7名(15隊1名、16隊4名、日本派遣団本部スタッフ2名)の計47名が参加します。会場はアメリカ連盟の常設キャンプ場で、ロッククライミング、ジップライン、マウンテンバイクといった冒険、地球環境、言葉の壁を超えた外国スカウトとの交流、異国の文化に触れ日本を紹介する文化フェスティバル、皆で弾けるステージパフォーマンス、等ワクワクドキドキのプログラムが盛りだくさんです。

キドキのプログラムが盛りだくさんです。

スカウト達には交流を通じて、世界中のスカウトと繋がっていること、共に「より良い世界を創る」仲間であることを実感してもらいたいと願っています。

スカウトにとって生涯一度の時間を有意義に過ごせるよう、指導者一同全力を尽して参ります。成長したスカウトの顔を楽しみに待っていてください。

第16隊 上級班長 中嶋みと葉(浜松第12団ベンチャー隊)

みなみさんの様になりたい。彼女は4年前23WSJに参加した際の所属班長だった方で、私の人生を変えたといっても過言ではない世界で一番尊敬する先輩です。前回は最年少での参加でとにかく先輩方に助けられ、楽しむことだけに専念することが出来ました。そのお陰でWSJの虜になり今回の参加も決意できました。しかし、今回は最年長且つ上級班長としての参加、今度は楽しむことだけを理由に参加するわけにはいきません。加えて開催地はアメリカ。前回とは大きく異なるWSJとなると思います。勿論とても楽しみです。でも、正直不安なことも沢山あります。でも、みなみさんがそうであったように、私も所属隊員みんなにとっての彼女のような存在になりたいと思います。



第16隊 隊付 鈴木雄翔(金谷第1団ベンチャー隊)

私はこの夏、第24回世界ジャンボリーに参加するにあたり次の事を心掛けたいと思います。一つ目は、今までのスカウト活動の中で身に付けた能力・知識を最大限に活用しジャンボリー生活を充実したものにするとともに、仲間と力を合わせて楽しく有意義な活動にしたいです。二つ目は、世界のスカウトとの交流を通して視野を広げ更なるスカウト技能の向上を目指して参加したいです。そして、今までのスカウト生活を支えてくださった方々に感謝をし、世界ジャンボリーを通してより一層成長して今後のスカウト活動に貢献していきたいです。



平成30年度 宗教章(佛教章)取得研修会

期間:平成31年3月23日~25日 主催:臨済宗奥山方広寺 主管:浜松地区

宗教章研修に参加して 沼津第4団ベンチャー隊 土方 知佳

宗教章研修を通して私は修行とは何かを理解する事ができたと思います。

宗教章研修に参加するまで修業とはただ辛いことに耐え、精神力を鍛えるものだと考えていました。でも実際は苦を滅し涅槃を実現するための行い、無になり、煩惱をなくす為の行為だと知りました。今回体験した座禅においては、はじめは足の痺れや寒さのことで頭が一杯で無心とは程遠い状態で時間が過ぎてしまいましたが、回数を重ねていくうちに段々と無心になる感覚を味わえる様になりました。

個人的には写経が一番無心になれる感じがしました。真っ白い紙に書き始める時の緊張と集中、書き終わった時の達成感と心の落ち着き。この研修は非日常的なものですが、写経の時間はその非日常の中でも非現実的な一時だった様に思います。

普段は雑談をしてしまう食事の時間や廊下の移動で沈黙を守る事で、一つ一つの行動と向き合い、いつも何気なくただ過ぎてしまっている時間に気付く良い機会となりました。

この様に、この研修は宗教章取得だけではなく、自分自身の人生においても大変貴重な体験だったと思います。この方広寺での研修に参加でき本当に良かったです。



第2回「若き指導者」



浜松30団カブ隊 副長
川端裕美子



浜松第30団カブ隊は、隊長、副長6名、デンリーダー3名、スカウト13名で構成され毎回趣向を凝らした隊集会が行われています。安全面では細心の注意を払いながらも、私たちスカウトに関わる大人が何を願い、子どもたちに何を期待し、それを受け取るスカウトはどんな成長を見せてくれるのか、たくさんの想像をしながら指導者7名が楽しく頭を悩ませます。

そんな中、副長一年目、『右も左もわからない』という言葉がぴったりな私は、活動におけるすべての事を他の指導者はもちろん、スカウトにも支えてもらいながら活動に参加しています。わからなければ聞けばいい、困っていたら助けてもらえばいい、そんな当たり前のことが当たり前に見えるスカウトを見てると、『きっと、大丈夫、できるよ』と少し自信を持つことができます。

そして活動に必要なスキルはまだまだ足りていない私にもできること、それは笑顔を忘れないことと、スカウトを信じることです。困難に立ち向かう時、あと一歩で乗り越えることが出来そうな時、周りで見守る大人が信じてくれていると感じることができれば、勇気を持ってその一歩を進むことができます。

一歩を踏み出し振り返った時、笑顔で喜びを共有します。スカウトのそんな特別な瞬間を見ることが出来るのは、指導者の特権かなと思います。

スカウトが活動の中で、学んでいることが『いつか』役に立ち、輝かしい未来が待っていることを信じ、その『いつか』の為に、今、私がスカウトにできることを笑顔で精一杯やっていきたいと思っています。





おみせやさんのじゅんぴ

三島地区 函南第1団 ビーバー隊 隊長 久保田 郁子

私たちのビーバー隊は、来月フリーマーケットでお店屋さん体験をします。

持ち寄った不要品を保護者の方々の方が仕分けて下さっているかわらで、お店に来てくれるお友達が楽しんでくれるようにスカウト達はゲームを作りました。

画用紙を使って段ボールを飾り付け、上に穴をあけて、中に何が入っているか手で触ってあてるミステリーボックスの出来上がり！試しに遊んでみると、触った感触は「丸くて、毛が生えてるよ」や「細長いけど何だろう?」、箱から出してみると…「テニスボール!」「おたま!」と歓声が。お母さんたちにもやってもらおうと提案すると、いっせいに走って行って嬉しそうにお母さんの手を引いてきてくれました。みんなお店屋さんの日をととても楽しみにしています。来てくれた人もきっと楽しんでくれるでしょう。工作に夢中な顔、やってみた時の楽しそうな顔、色んな表情を見せてくれた1日でした。



「ぼたもち」作ったよ!

島田地区 金谷第1団 ビーバー隊 隊長 寺田 弘子

日本の伝統や日々の行事を忘れてませんか?

3月21日、ビーバー隊は隊長の家で「ぼたもち」作りを行いました。

スカウトとリーダーだけの活動でした。

最初に、炊けたもち米を「半殺し」にする(お米を半分つき)。続いて「あんこ」と半殺しもちを5個ずつに分ける。そしてラップにあんこを伸ばしてもち米がかくれるように「あんこ」で包みます。さあ、おい



しそうな「ぼたもち」の出来上がりです。お持ち帰りの「おみやげに」になりました。

「よくできたね」「おいしかったよ」と多くの感想が隊長にとどきました。

研修所

富士宮地区 富士宮第5団 ビーバー隊 副長 佐野 千景

先日、地区や団のご支援のおかげで、ボーイスカウト運動について学ぶ3泊4日の研修に参加することができました。

ボーイスカウト運動とは、一言でいうとすると、「より良き社会人を育てる教育運動」でしょう。これをビーバースカウトの年代にどう落とし込むのか、ボーイスカウトの「ちかい」をじっと見つめ考えてみました。

十分に愛され、認められて育ってきた人は、他の人を助け、認め、自分のことも大切にします。ビーバースカウトの年代にとって、お互いを認め合い、安心してそのままの自分でいられるような場所があるということは「より良き社会人」を作るうえでとても大切なことなのだと思います。そのため私は、保護者の方々と協力し、縁あってこの隊に来てくれたスカウトたちのありのままの姿を受け止め、愛し、上進へと導いていきたいです。

そして、自分自身ももっと「より良き社会人」へ成長するため、自己研鑽に努めます。

スカウトのみんな!これからも、家庭でもなく学校でもない特別な仲間たちと、好奇心や探求心を満たすようなワクワクドキドキの活動を一緒に楽しみましょう。



施設のスカウト達と

富士地区 富士第1団 団委員 川島 泰彦

私達の富士1団(発足時吉原1隊)は昭和25年に発隊した静岡県東部で最も長い歴史を持つ団です。現在、社会福祉法人芙蓉会ひまわり園を本部としてそこに生活する少年少女達の活動の場となっています。カブ隊3名、ボーイ隊6名の少人数ですが、それぞれの集会ではスカウト活動の基本である野外に出かけてスカウティングを楽しんでいます。写真は筍堀りと緑の募金時のものです。

発足は終戦後の混乱期でしたが、園長であり初代団委員長長戸巻俊一先生の「地域と園の少年達融合」という方針の下に多くのスカウト達が活動していました。これからは地域の少年少女を巻き込んでの活

動に努めたいと考えています。



志太地区の元気なスカウト 楽しかった春のキャンプ

志太地区 藤枝第2回 カブ隊 **小泉虎太郎**

キャンプで一番楽しかったのは火おこしをしたことです。

キャンプの夕食の時にぼくは火の番に決定してもう一人の火の番のしんじろうくんといっしょに火をおこしました。マッチで火を付けて一回目は失敗したけど2回目は火がつかました。それからまつぼっくりをもやして木にも火がつかしました。火がうまく付いてもえたので料理もおいしくできました。

志太地区 藤枝第2回 カブ隊 **福安 駿生**

五年生なのでクマスカウトになりました。カブたいの中では最高学年です。去年までは上にお兄さんや、お姉さん達がいたけど、今年は上の人にはたよれません。だから、去年よりたくさん自分で動きました。

なかでも一番動いて、楽しかったのは夕飯作りです。今年はハンバーグとミネストローネです。玉ねぎのみじん切りと、にんじんを小さく切りました。お肉をこねて、形を作り、焼きました。食べたら、とってもおいしかったです。次は夏のキャンプ。何をやるのか、今からとっても楽しみです。

志太地区 藤枝第2回 カブ隊 **青木 孝憲**

待ち遠しかったキャンプの日がやってきました。「くま」で組長になって初めてのキャンプなので、上手くいくか少し不安でした。

テントの設営では、ぼくは、組長なのでいろいろと指示を出さなければなりません。なので、テントの立て方を覚えているか不安でした。でも、だいたい覚えていたし、分からない所は隊長が教えてくれました。それで、去年よりも早く終わってうれしかったです。

食事作りでは、僕は火の番がやりたかったけれど、じゃんけんで負けてくやしかったです。でも、食事係をやってみると、ハンバーグやミネストローネなどの調理ができたので、良い経験になったと思います。

夕方の訓練では、もやい結びと、ふた結びを覚えめました。覚えるのは大変だけど、色々つかえるので、他の結び方も練習して、覚えられるようにしたいです。

志太地区 藤枝第2回 カブ隊 **岡本 愛加**

ひさしぶりにキャンプをして、楽しかったです。ペグをさす所がむずかしかったです。でも、みんながたすけてくれてとってもうれしかったです。わたしが四年になって、ほかの人が入ってきて、今ではわたしがたすけたいです。

志太地区 藤枝第2回 カブ隊 **杉井進次郎**

ぼくが、一番思い出にのこったのは、かまどの火つけです。まつぼっくりを取りに行くために、25mはなれた場所まで取りに行きました。何でもおうぶくして、数えきれないほど集めました。まつぼっくりを火に入れると、油に一気に火がついて、さい最終的に「バン」とはれつしました。自分でくろうして集めたまつぼっくりが役に立ってうれしかったです。役わりを決めてあたえられた仕事をさいごまでやりとげることを学びました。



ちかいの式

磐田地区 磐田第3回 ボーイ隊 **石野 榛名**

私は今回後輩のちかいの式を見て、二年前は自分がちかいをたてたことを思い出しました。当時、私はとても緊張していました。たくさんの先輩方や、自分や友達の親などの前で一人でおきてとちかいをたてるからです。ちかいの式はボーイ隊に入隊する上で欠かせない行事です。後にも先にもこれっきりのとんでもなく大事な式といっても過言ではないような雰囲気にも包まれていました。普段とは全く違う、いわば別世界のような空間だと思いました。片手にはろうそく、もう一方の手では隊旗を掴み、淡々とちかいをたてておきてをたてます。たてたあとはろうそくを既定の場所におさめます。



す。私は自分が行なったときのことは緊張であり覚えていませんでしたが、後輩が行なっていたときになんて格好いいんだろうと思いました。それと同時にようこそとも思いました。この行事はこれからも潰えてほしくないものの一つです。この行事があるからこそこのボーイスカウトだと思っからです。

募金と緑のつながり

御殿場・小山地区 小山第4団 ボーイ隊 関 隆徳

僕は、この緑の募金活動を小学1年生からやってきました。

募金をしてくださった方達が、ほとんどの割合で『気持ちだけですから』と、お金を募金箱の中に入れてくださいます。しかし、僕は、この『気持ちだけですから』という言葉と入れてくださったお金が積み重なって、たくさんの緑が増えているんじゃないかなと思います。なので自然と疲れずに楽しく募金活動ができます。

これからは、受験勉強で忙しくなり、募金活動ができなくなってしまうかもしれませんが、協力していこうと思います。



指導者だより

「スカウト運動」を振り返り

沼津地区 裾野第4団 BS 隊長 地区 VS 担当副コミ 野田 由男

私がスカウト運動に参加したのは約25年前です。長男がカブ隊に入隊、当時の隊長が会社の先輩で三角の布とリングを渡されて集会に来てね…

スタートは団委員としてカブ隊を中心に隊集会の安全確保、プログラム実行のお手伝いをするところから始まりました。

私自身活動で多くの方々に支援をいただき25年間を出来たことに心から感謝をしています。その中の私のスカウト人生を変えてくださったお二人をご紹介します。

①同じ市内のSIさま

SIさまはスカウト運動についての疑問に対してたくさんのお話をさせていただきました。その中で「研修所」というのがあるから参加してみな…そうすれば基本を正しく教えてくれるよ…と言われ、「まずはボーイ課程だな…」との助言で参加しました。それは今でも活動の原点となっています。

②地区内のISさま

当時県連役員だったISさまは、県内で15NJが開催された時にお電話をいただき、「会社を休みなさい!」と言われ、「休めるものぞ!」と言われ、会社に確認するとボランティア休暇制度が出来て休めました。そこで15NJへ奉仕することが出来、部署はISさまが決めてくださり、施設資材部に配属され、16NJ、23WSJと連続で奉仕が出来て、大きな経験が出来ました。

この様にスカウト人生でこのお二人の様な先輩が居られて今があります。心から感謝をしながら今後も精進、努力を重ねていきたいと考えています。



緑の募金活動

清水地区 清水第8団 ビーバー隊 隊長 片山 博司

3月31日に三保の松原で2時間ほど「緑の募金活動」を行いました。私はビーバー隊の隊長になって10年以上経ちますが、募金の時は『スカウトのやる気』、『世間の人々の理解と賛同』、『募金者へのお礼の言葉』を念頭において臨んでおります。

ビーバースカウトにとって募金活動から「楽しさ」を感じるのには難しいと思います。隊長が褒めてあげることに加えて、募金者から「頑張ってるね!」の励ましの言葉を戴けることがスカウトのやる気を引き出してくれるようです。普段は悪ふざけをする子供達が目的を理解して真剣に活動し、成果が得られれば願ったり叶ったりです。

世間の人々は、忙しく世知辛い世の中であって、社会への関心が以前より薄れてきたように感じます。し

かしながら、この地で募金活動に目を向け、説明に耳を傾けて下さった方々が少なからず存在した事が大いに励みになりました。観光で来られた中高年の方々、親子連れ、若いカップルなど幅広い世代から募金を集めることが出来て、ひたすら感謝です。「ありがとうございました。」の一言が心の中から自然に湧いてくる気がしました。

最後に隊長の思い込みや自己満足ではありますが、募金活動がスカウトの成長や人格形成に繋がってくれることを期待しています。



さを学ぶことは、ボーイスカウト活動だからこそ得られる体験です。子供時代の体験を人生の中で生かすことのできるボーイスカウト活動となるよう今後もスカウトのために微力ながら支援をしてゆきたいと考えています。

くまスカウトお別れハイク

浜松地区 浜松第14団 カブ隊 隊長 鈴木 佳之



私たち浜松第14団カブ隊では、年度最後の3月の活動として、くまスカウトお別れハイクを毎年計画しています。平成30年度は、電車を乗り継ぎ湖西連峰を目指すことにしました。浜松駅に集合し、

新所原駅までの切符を自分で購入し東海道本線に乗車。乗車中は、他のお客さんに迷惑をかけないように静かに乗っています、さすがカブ隊。新所原駅で天竜浜名湖鉄道に乗り換え知波田まで向かう途中トトロの森のような所を通りみんな感動の声。知波田駅から約13kmのハイキング開始です。おちばの里親水公園まで約1時間一本杉の大きさに驚き、目的地の一つ不動の滝に向かいます。不動の滝は気を抜けば転がりそうな傾斜のところ。ですが、弱音はくスカウトはいませんでした。その後の道中はへっちゃらです。余裕で廃寺跡に到着し浜名湖を眺めながらおにぎりを食べ帰路に就きます。全員無事知波田駅まで歩き切ることができました。最後まで組を引っ張ってくれたくまスカウトありがとう。

ボーイスカウト活動への思い

掛川/袋井地区 掛川第2団 団委員 田中三千男

ボーイスカウト活動に最初に触れたのは、息子がビーバースカウト隊に所属していた今から20数年前になります。各隊合同のファミリー感謝デーで野外料理を父兄に振舞うものでした、ビーバー隊はフルーツポンチのデザートのカブ隊は焼きそば、ボーイ隊は飯ごう炊飯でのご飯と焼き肉を作りバイキング方式で配膳され食事をした思い出があります。

この時、ボーイスカウトは、年齢に応じた体験を重視した活動をしていることを知りました、先輩スカウトは年下スカウトの面倒を見ることで自然に仲間意識ができる体系であることにも感心しました。

その後、育成会長を務めることとなり団委員の仲間入りをしました。ボーイ隊、カブ隊の夏季キャンプの支援のためにトラックに機材を積み込み搬送、食事の準備、時にはお借りした公会堂の排水パイプの詰まり修繕、水路の土砂清掃、ベンチのペンキ塗りなど、「来た時よりも美しく」の合言葉で奉仕したことも楽しい思い出です。

団委員として、毎年市内の幼稚園、保育園そして小学校にスカウト募集説明会のチラシ配布と説明会の開催をして募集活動を行っています。説明会では、



両親と共に参加した子供たちを集め託児を開き、ご両親にスカウトの「ちかい」や「楽しさ」をしっかりと説明し、十分な活動理解を得てもらえるようにしています。

スカウトの年齢に見合った体験活動を通じて、仲間作りや優しさ、時には厳し



浜松地区・浜松東地区 「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」

浜松第15団 団委員長 佐藤 誠

浜松第12団、浜松第15団、浜松第24団はイオングループの主催するボランティア支援事業「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加しております。

当キャンペーンは「イオン・デー」(毎月11日開催)に発行するレシートを来店客が投函し、イオンがレシート合計金額の1%相当をボランティア団体に寄付するものです。この度、イオンモール浜松市野にて地域の参加団体と共に贈呈式が行われました。

地域ボランティア
30団体の活動支援
イオンモール市野
浜松市東区のイオン
モール浜松市野は13
日、地域のボランティ
ア団体を支援する「幸
せの黄色いレシートキ



贈呈式に参加した各団体代表
＝浜松市東区のイオンモール浜松市野

キャンペーンの30周年の記念や、東海地区の環境保全を目的とした。01年から向キヤなど取り廻す市内30日に発行する黄色の団体に、計約10万レシートを来店客が四角形のギフトカード、専用紙に投函し、イオンがレシート合計金額の1%相当をボランティア団体に寄付する。長は「皆さんの継続的額の1%相当をボランティア活動に寄付してほしい」と述べ、キヤ



おめでとう!! 38名の仲間が友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、友達がスカウトに入るともらえる章です。記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

令和元年6月度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充・広報委員会

氏名	地区	所属	氏名	地区	所属
土井 悠 吏	富士宮	富士宮第22団 C S隊	鈴木 蒼 生	島 田	島田第4団 BVS隊
櫻井 碧 芭	島 田	島田第2団 BVS隊	塚本 彩 雅	島 田	島田第4団 C S隊
前川 伊 吹	島 田	島田第2団 BVS隊	嵩下 朔 叶	島 田	島田第4団 C S隊
永田 來 夢	島 田	島田第2団 BVS隊	金刺 直 忠	島 田	島田第4団 C S隊
永田 歩 夢	島 田	島田第2団 BVS隊	古屋 紬	三 島	大仁第1団 C S隊
杉本 新 太	島 田	島田第2団 BVS隊	牧田 大 和	三 島	大仁第1団 C S隊
園部 桃 子	島 田	島田第2団 C S隊	石井 瑛 大	三 島	大仁第1団 C S隊
松岡 颯 樹	清 水	清水第19団 C S隊	小森 瑛 人	三 島	大仁第1団 BVS隊
大槻 時 央	清 水	清水第19団 C S隊	関谷 聡 真	三 島	大仁第1団 BVS隊
望月 鍊	清 水	清水第19団 BVS隊	古屋 一 矩	三 島	大仁第1団 BVS隊
黒坂 柴 子	浜 松	浜松第12団 BVS隊	藤澤 咲 樹	三 島	大仁第1団 C S隊
平野 乃 莉 佳	磐 田	豊田第1団 B S隊	高梨 航 佑	三 島	大仁第1団 C S隊
平野 紗 也 佳	磐 田	豊田第1団 C S隊	金刺 陽 之 丞	三 島	大仁第1団 C S隊
太田 偉 敦	浜 松	浜松第19団 C S隊	平井 唯 斗	三 島	大仁第1団 BVS隊
大澤 夏 樹	浜 松	浜松第19団 C S隊	宮石 透 空	三 島	大仁第1団 BVS隊
石田 虎 来	浜 松	浜松第19団 C S隊	矢田 ひ ま り	三 島	大仁第1団 BVS隊
遠藤 輝 希	三 島	三島第5団 B S隊	山崎 亘	三 島	大仁第1団 BVS隊
平内 春 伎	磐 田	磐田第3団 V S隊	斉藤 礼 恩	三 島	大仁第1団 BVS隊
大石 優 輝	島 田	島田第4団 BVS隊	石井 大 智	三 島	大仁第1団 C S隊

おしらせコーナー

《各研修のご案内》

◆ 団指導者上級訓練(団委員実修所)第二教程 第26期

- 期 間: 令和元年10月12日(土)~10月14日(月・祝)
- 場 所: 国立中央青少年交流の家
- 申込み: 9月1日(日)まで 県連必着

◆ WB研修所スカウトコース 静岡第7期

- 期 間: 令和元年10月11日(金)~10月14日(月・祝)
- 場 所: ボーイスカウト浜松太田山野営場
- 申込み: 9月13日(金)まで 県連必着

◆ WB研修所課程別研修 静岡第7回

- 期 間: 令和元年10月27日(日)
- 場 所: 静岡県青少年会館
- 申込み: 10月6日(日)まで 県連必着



《参加募集!》

◆ 東海4県連盟合同野営大会(3TC)

- 期 間: 2020年8月7日(金)
~8月12日(水)
- 場 所: 岐阜県日和田高原
- 申込み: 2019年冬に仮申込受付開始!



ボーイスカウトへのお問い合わせ・入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局 (☎054-255-6185) まで
ホームページもご覧ください。 <http://bs-shizuoka.com>

編 集 日 記

24WSJ、夏のキャンプを前に各地区・団ともに慌ただしい毎日と思います。本年度も秋になりましたらパネル及びコンテスト写真を募集致します。

夏キャンプ・研修ほか、たくさんの思い出を写真に込めて応募下さいませようお願いします。

広報「たちばな」編集部 杉山文朗

広 報 “たちばな” 2019年7月

発 行 所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町 1-70-1
県青少年会館内
TEL054-255-6185 FAX054-255-6186
<http://bs-shizuoka.com>

編集責任者 組織拡充・広報委員長 川島 一郎

印 刷 三富印刷株式会社
静岡県浜松市東区上新屋町 30-1 TEL053-467-4678

発行部数 4,503部